

すもと あわじ はってん そ きず いわたやすろうぞう
 洲本、淡路の発展の祖を築いた岩田康郎像

所在地：洲本市 海岸通



岩田康郎像と洲本城址

現在、洲本市の中心を流れている洲本川は、かつては南に蛇行し、氾濫すると市街地に大きな被害をもたらしていました。この洲本川の氾濫防止と新たなまちの区画整理等を目的として、旧五色町鮎原の出身で当時の洲本町長であった岩田康郎氏が、明治 37 年（1904）に洲本川の付け替え工事を実行しました。付け替えによって埋め立てられた土地には、カネボウの工場を誘致し、社宅も含め企業城下町が形成され、後のまちの発展に大きく寄与しました。

洲本バスセンターの交差点に建てられた“洲本近代化の父”岩田氏の銅像は、今日も洲本のまちを見守っています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道 28 号、県道 76 号線へ。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万 5千分の 1 地形図